

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援放課後等デイサービス ソラリスキッズみなみたかみ			
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～	2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援（理学療法士）を取り入れながら、より質の良いサービス提供に努めている。	利用の多い児童さんは4回理学療法士がリハビリを行い、歩行訓練・姿勢保持の練習・筋力トレーニングなど行っている。	自閉症や知的障害児の児童さんにもリハビリが出来る様、研修に参加して勉強をしている。
2	プログラム・活動の充実	職員が意見を出し合いながら、その日利用の児童の特性に合わせた活動を行っている。 長期休みは朝から利用のため、食育を育てるためにクッキングを行ったり、農作業をしたり活動が固定化しないように努めている。	微細活動や学習の際に役に立つ教材を手作りで作ったり、購入したりして、手厚くサポートを行っている。
3	保護者との情報共有やコミュニケーションを大事にしており、HUGやLINEなどのツールの活動や、送迎時に今日の様子を伝えてコミュニケーションを取っている。	子どもたちが安心性して、笑顔で楽しく過ごせる環境づくりを目指している。	保護者の意見を職員間で共有し、今必要な支援を話し合っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の交流がない	地域の保育所や学童など同世代の児童との関りがあまり出来ない	地域の行事・イベントの参加や地域交流を目的としたイベント等を計画していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービス ソラリスキッズみなみたかみ

公表日 2026年3月10日

利用児童数 29

回収数 16 (55.2%)

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		2	ご意見なし	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		3	①常に見ている訳ではないので分から ない	職員の異動や退職もあるので、保護者に お知らせをしていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		4	ご意見なし	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	14			4	ご意見なし	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いませんか。	17	1			ご意見なし	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いませんか。	15	1			ご意見なし	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いませんか。	18				ご意見なし	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	17		1		ご意見なし	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いませんか。	17	1			ご意見なし	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	15	2	3	1	①お出かけも様々なところに連れて 行って下さったり、季節に応じた 製作などありがとうございます。	今後も固定化されないように、活動を 考えていく
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機 会がありますか。	3	1		11	①隣のおりおの方と一緒に遊んでいる 時 もあると思うので交流も刺激にな	今後も地域の方と交流が出来るように 市民センターや公園、行事に参加出来る ようにしていく
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	17			1	ご意見なし	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	17		1		ご意見なし	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	6	1	6	5	ご意見なし	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いませんか。	18				ご意見なし	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1		ご意見なし	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いませんか。	18				ご意見なし	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きよ うだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が 設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	4	9	保護者同士の交流など可能であれば、 お願いしたい	今は廃止しており交流会のきっかけがな い。今後検討していく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13		1	4	ご意見なし	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1			ご意見なし	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1		ご意見なし	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			2	ご意見なし	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	5	恐らく訓練は定期的には実施されていると思うが、分からない為「分からない」	保護者に周知して頂くようにお便りを配布する
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1	ご意見なし	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			5	ご意見なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2		1	以前子どもが怪我をした際に謝罪と通院時の領収書の保管するように簡素的	細やかな配慮を行うようにしていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17			1	ご意見なし	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1		2	ご意見なし	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				子どもの気分に波があり、通所が難しい時もあるが、やさしく臨機応変な対応	今後も保護者や児童が安心して過ごせる場所を作っていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援放課後等デイサービス ソラリスキッズみなみたかみ				公表日	2026年3月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	活動によって部屋を分けている。	状況に合わせて部屋を分けていく。広くて落ちつかない児童もいる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	職員の希望休によってはギリギリな日もある。	障害の程度も含め、適切な配置を心掛ける。タイミーも利用する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	9	全てではないが、トイレや廊下に手すりがついている。	クッションシートがめくれあがっている箇所もあるので、転倒しないように環境整備を行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日、玩具や室内消毒をしている。	部屋が広く死角もあるため、扉や柵をして児童が死角に入らないようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	クールダウンする部屋や学習する部屋などを準備している。	カーテンで目隠しをしている。音が漏れるので、扉にするか検討している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	会議で職員同士意見交換をしている。	定期的に会議を開き、全職員が把握できるようにする。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	アンケートの結果を会議で発表をし、改善点は取り組んでいる。	自己評価アンケートを今後も実施し、業務改善に繋げていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員と日頃からコミュニケーションを取り、要望等が出た場合、話をまとめている。	管理職の会議の際に、社長に案を伝えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	未実施	導入を検討している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	研修に行き、行けない場合はオンライン研修を行っている。	今後も研修の機会を設ける。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者と面談を行い、公表している。	保護者と関係を深め、児童にとって今何が必要か話し合い、支援プログラムを考えていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	保護者の意向を踏まえたうえで計画書を作成している。	今後も保護者と情報共有を行い、児童さんに合わせた計画書を作成していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	ケース会議を行い、職員から児童の日々の様子を聞いている。	今後も職員と意見交換を行い、児童の様子を把握していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	児童の人数や職員の人数により、取り組める日と出来ない日がある。	出来る限り支援計画に沿った活動を行う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	9	未実施	導入を検討している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	取り入れている。	家族支援が行き届いていないかもしれないので送迎時などに保護者とやり取りしていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	児童の特性に合わせ、活動を決めている	今後も活動が偏らないように、職員同士で話し合ったり調べる。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0	9	児童が楽しめるように活動を決めている	適切なプログラムを計画していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	児童の状況に応じて作成している。	今後も集団と個別で分かれるように組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	情報を共有し、変更があればラインで伝えている。	臨機応変に役割分担が出来るようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	カルデに記入をし、振り返りや気付いた点を職員間で共有している。	業務終了後に共有したり、ラインで共有したりしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	職員間で共有し、様々な対応をしていっている。その中で児童にいいのがあれば職員間で共有	今後も意見交換を行い、よりよい支援が出来るようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	更新時に見直しをしたり、目標が達成すれば前倒しで支援目標を変更している。	今後も、児童の成長に合わせた支援計画を作成する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	0	利用時間が短い時もあるので、必ずしも全部出来ているわけではない。	出来る限りすべての支援が行き届くようにしていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	3	行っている。児童によっては成果にムラはあるが自分で考えるように支援している。	今後も取り組んでいく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	5	管理者や児童発達支援管理責任者が参加している。	今後も会議に参加し関係機関と連携を図っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	医療に関しては連携が取れていない。	保護者を通じたり、直接関係機関と連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者から下校時間の用紙を頂き、変更があれば連絡を頂いている。職員間で連絡調整を行っている。	引き続き、保護者と連携を図っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	相談支援員さんがメインになるが、情報共有を行っている。	今後も情報共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	対象児がいない。	対象の児童がいれば取り組んでいく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9	未実施	検討中
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	数回、放課後児童クラブの児童が遊んでいる公園に行き輪の中に入れてもらった。	利用時間が長い時に交流させてもらう。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9	未実施	検討中
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	市民センターや公園で交流する機会があるがこちらから園に向いてと言うことはない。	近隣の施設で交流が出来そうなときは進んで参加する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	連絡帳や送迎時に今日の様子を伝えている。保護者から要望があれば、面談も行っている。	今後も引き続き、共通理解を図っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明をしている。	今後も丁寧な説明を心掛ける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談を行い保護者の意向を確認している。	今後も保護者と連携を取り、今後の支援に繋げていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	保護者の意向を聞き、支援計画に反映している。	今後も保護者と連携を取り、今後の支援に繋げていく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談があった場合は面談を行い、今後に向けて検討を行っている。	今後も気軽に相談できるような居場所を作っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	出来ていない。	今の所、用途はない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	9	真摯に受け止め、適切に対応している。	今後も適切な対応、助言、支援を続けていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	通信を廃止したので、SNSやHUGで行っている。行事予定など発信できていないので、公開し	今後も通信やSNSなどで発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	書庫のファイルに保管している。	承諾なしに第三者に個人情報を公開することはしていない。今後も取り扱いに注意する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	児童には視覚的支援、保護者とは送迎時やHUGなどで意思の疎通を図っている。	今後も児童や保護者に配慮していきながら行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	町内会には入会しているが、開かれた運営は出来ていない。	今のところ、実施出来ていないため、今後の課題としたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	職員は周知しているが、保護者は周知が出来ていないと思う。	保護者に周知してもらおうようHUGでお知らせをする。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	2か月に1度火災発生時や地震発生を想定した避難訓練を行っている。	訓練に参加する児童がかぶらないように実施日時を工夫していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時に用紙に記入してもらい、職員間で情報共有をしている。	薬の変更などもあるので定期的に保護者に確認していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	アセスメントで食べ物アレルギーの調査は行っている。対象児童にはその食べ物を提供しないようにしている。	今後も確認、周知を徹底するようにしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	救命講習の研修に参加し、訓練を行っている。	保護者にも周知してもらおうようHUGで通知をしたり共有していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	9	周知出来ていない。	今後お手紙でお知らせしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	該当事例が起きた際にヒヤリハットを記入してもらい、職員全員に回覧している。検討会を開き、対策を話し合っている。	今後も情報共有や対策を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	半年に1度研修があるので、職員も参加している。	今後も研修に参加し、知識を深めていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束の誓約書は保護者に伝えて、署名は頂いてるが支援計画書に記載できていない。	今後支援計画に組み込んでいく。	